



「早く」「正確に」仕事を覚えるのが目標
株式会社タカヤ 大須賀 樹さん



どんな仕事をしていますか？

私が所属している「環境建設部」では、公共事業を主とした、道路、橋、ダム、漁港の工事などに対応します。甚大化する自然災害に備えた公共インフラの補強工事、構造物の長寿命化に向けた補修工事により、長きにわたって安心して利用できるインフラ整備を目指します。私は、現場の写真管理、安全管理にくわえて、測量や図面作成など、幅広い業務を担当しています。

入社のきっかけは？

自分が沿岸出身だったため災害復興の工事が多く、その中で会社の名前や施工した現場を知っていたので大学在学中にインターンシップを受けて入社を希望しました。

仕事のやりがいを教えてください！

事前に準備していた書類や図面が形になってきて新しいものが出来たり、新しいものになることで、自分が少しずつ変化し成長していることを実感できることです。

印象に残っている仕事のエピソード

近隣住民の方から感謝されたり、工事に関して納得されたりすると周りの人達のためにもより良いものを作らなければいけないと強く思うようになりました。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やってあげよかったこと」

意識していたのは「色々な人と関わり色々な話をする事」。それによって、自分の考えの幅が広がったような気がします！

株式会社タカヤ
<http://takaya-net.jp>



土木施行を通じて社会インフラに携わり、持続的に社会と地球の未来に貢献
株式会社タカヤ 沼井 聖矢さん



どんな仕事をしていますか？

主に、現場の監督者として、測量や写真撮影、安全管理、品質管理、工程管理、原価管理などのものづくりに関わる全ての施工管理業務を行っています。

入社のきっかけは？

合同企業説明会や、インターンシップを経て企業理念に共感したことです。

仕事のやりがいを教えて！

工事完成時や、実際に自分が携わった構造物を利用している人の姿を見ると、達成感ややりがいを感じます。土木工事の社会に及ぼす影響や責任は大きいですが、その分使命感を持って仕事に臨む事ができることも魅力の一つです。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やっておけばよかったこと」

やっておいて良かったことは旅行です。逆にもっとやっておけば良かったなと思うことは読書です。そのほかアルバイトではアパレル店員という、学校とは違った職種を経験でき楽しかったです。自炊に関しては、コスバのいい時短料理を作っていました。今でもたまに作るので学生時代に覚えていて良かったです。

株式会社タカヤ
<http://takaya-net.jp>



お客様の「夢」をかなえる仕事
株式会社パルコホーム 菅原 大亮さん



どんな仕事をしていますか？

一般住宅建築・土木工事・宅建物取引業・住宅設備機器の販売を行っています。営業・設計・インテリアコーディネーター・工事監督・総務経理の様々な課があり、会社全体がチームとなりお客様一人ひとりのお家づくりのサポートをしています。お客様のご要望を元にプランニング、土地探しや敷地調査、銀行手続き、ファイナンシャルプランニングによるお金の人生設計などを行っています。お客様の不安を解消・解決し、マイホームの夢を叶える仕事です。

菅原さんってどんな人？

小学校から大学までの14年間ずっと野球をやっていました。今でも草野球をやっています。中学2年生の時に東北選抜に選ばれて台湾で野球を行ったことが自慢です。趣味はゴルフとラーメン巡りです。学生時代は、練習終わりに週2で穴場に行っていました。

仕事のやりがいを教えてください！

お客様の夢をかなえるお手伝いが出来る、特別な仕事だと思います。様々な分野の知識が必要なので大変ではありますが、やりがいは大きいです。家を建てるという大きな契約を任せてもらえたとき、そしてそれを叶えられたことを実感するときは大きなやりがいを感じます。お客様の口から喜びのお言葉を頂いたときは、頑張ってよかったなと思う瞬間です。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やってあげよかったこと」

甲子園を目指して野球漬けの毎日でした。部活動で得た経験が今の社会人生活にも活かしているところがあります。先輩との上下関係や根性は、学生時代での部活動でしか身につかないことだと思うので、全力で取り組んでいてよかったなと思っています。

株式会社パルコホーム
<https://www.palcohome.com/>



会社や社員の皆さんを支える 株式会社コミュニティスケープ 工藤 夏菜さん



どんな仕事をしていますか？

総務・労務・人事・経理全般（備品管理、会社運営のサポート、契約事務、入札補助、勤怠管理、社会保険手続き、給与管理、採用活動、会社のお金の管理等）と業務サポートなどが主な業務です。

入社のきっかけは？

大学研究室の先輩である現会社の社長と連絡を取る機会があり、当時は出産・育児のために働いていなかったためそのことを伝えた際に、「在宅で、できる範囲で少し働いてみませんか」と声をかけていただいたことがきっかけです。

仕事のやりがいを教えてください！

現在の仕事内容は、会社の経営・運営や社員の皆さんの働く環境に直結するので、重要な仕事を任せていただいているのだと感じます。

思った通りに行かないことや、難しいこともたくさんありますが、疑問や問題点については社長や社員の皆さんに相談しながら進めていけるので、頑張れます。

印象に残っている仕事のエピソード

入社当時はパートタイマーとして働き、設計補助等を行っておりました。会社で設計した公園や広場などが、設計図から工事によって目に見えるかたちになり、色々な人に利用される場所となっていく一連の流れを見たとき、色々な人と関わりながら場所や風景を作る仕事なんだと感動しました。「設計」によってつくられた「場所」にはそこに暮らす人、利用する人、考える人、つくる人様々な思いが詰まっていることを知りました。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やってあげばよかったこと」

ゼミや研究室の活動にも力を入れました。ゼミでは、様々な角度から考える力や忍耐力が身についたと思います。アルバイトやボランティア（東日本大震災）活動も自分にとって貴重な経験だったと思います。就職活動にはもっと力を入れるべきだったのかなとも思います。

株式会社コミュニティスケープ
<https://cm-s.jp/>



業務の段取りを掴み、要領よくこなす！

株式会社コミュニティスケープ 設計部 箱石 一真さん



どんな仕事をしていますか？

公園・緑地の調査・計画・設計からスポーツ施設・広場の計画・設計、その他「みどり」に関する業務全般を行っています。事務所では、報告書のとりまとめ、計画平面図の作図等を行います。また、業務内容によっては現場に出向き、体育館やスポーツ施設等の現況調査、地域住民とのワークショップ等も行います。

入社のきっかけは？

大学時代専攻していた業界とは少し違いましたが分野が似ていたこと、社内の雰囲気や社員の方々、代表がとても親切だったため入社を決めました。

仕事のやりがいを教えてください！

入社1年目でも会社の一員として、仕事の裁量を任せてもらえることです。

印象に残っている仕事のエピソード

スポーツ施設の現況調査の際、気が付くと1日に2万歩も歩いていたことです。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やってあげばよかったこと」

やっておいて良かったことは、アルバイトと部活動です。やってあげば良かったことは、「今以上に
もっと友達と遊ぶこと」ですね。

株式会社コミュニティスケープ
<https://cm-s.jp/>



“働く”ことはおもしろい。震災時に仮設住宅を生産し、社会貢献を実感。

株式会社住宅工業 立山 敬裕さん



高校を卒業後は進学せず県内での就職を希望していた立山さん。就職コースのクラスに所属し、就職へのこだわりも強かったです。2000年に株式会社住宅工業に入社してから転職することなく、現在に至ります。2016年には主任に昇進しましたが、今でも多くのことを学びながら日々仕事に励んでいます。

Q. どのような仕事をしていますか？

朝は始業前にその日の生産ライン設備の前段取りから始まります。そして、設備稼働中は生産目標に対して遅れている工程への応援をし、生産終了後は作業日報のとりまとめも行っています。また課長、係長といった役職の人たちの補佐もしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

高校3年生のときのアルバイトで働くことの面白さを覚えて、就職への意欲が強くなりました。そんな時に現在の会社の求人を見つけました。仕事内容を調べたところ、工場でミサワホーム向けの住宅部材を作るという内容でした。家を建てるという、一生に一度あるかという買い物をする人たちの手伝いができることへの興味を持ち、応募したのがきっかけです。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

2011年に起こった東日本大震災の時、沿岸地域への応急仮設住宅をこの工場でも生産したことです。短期間で多くの棟数を生産する必要があり、また通常設備で生産ができない仕様でした。そのため人手を必要とし、ミサワホームの福岡、岡山の工場の人たちの協力を得て生産することができました。材料を仕入れている工場も地震の被害を受け、材料が足りなくなったりしました。それでも工夫をして完成することが出来ました。完成した応急仮設住宅は気密性がよかったというふうに関き、社会貢献できたことを実感しました。

Q. これからの目標を教えてください。

今の主任の役職に満足をしなくて、さらにたくさんの経験をして係長、課長といった役職に昇進できるように頑張ることが目標です。そのためにもほかの人から頼りにされるような仕事をしたいと考えています。また、研修にも進んで参加をし、機械・設備のトラブルが起きた時に対応ができるようになりたいと思っています。そして、後輩への指導もしっかりとできるようになりたいです。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

岩手県内で一番栄えている町として魅力があると思います。休日の買い物は盛岡に行きますし、東北各県から訪れている車も多く見られます。また、三大麺といったおいしい食べ物があるところや、さんさ踊りといった大きい祭りがあると魅力の一つだと思います。

インタビュー：業務課 伊藤 文太 ・ 製造課 名久井 勇哉

株式会社住宅工業
〒028-7303 八幡平市柏台1-4



多くの人の協力で工事を完成させた時の達成感がすごい！地域貢献も実感。
株式会社水清建設 佐々木圭佑さん



高校ではラグビー部に所属し、全国大会に出場したこともある佐々木圭佑さん。高校卒業後は東京に就職したものの生まれ育った地に貢献したいと思い地元の建設会社に入社。一人前の監理技術者を目指して働いています。

Q. どのような仕事をしていますか？

工事現場の現場代理人として、工事が工程通りに進むよう、多くの協力業者さんや作業員さんに指示を出し、無駄なく安全に品質良く作業できるように施工の管理をしています。日々の施工状況を記録した工事写真の整理や、作業の一部完成部分を測定した結果が発注者の求める規格内に収まっているかの出来高管理など書類作成、発注者との打ち合わせ、資機材の手配などを行っています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

建設業は思った以上に体力やチームワークなどさまざまな事が必要となる仕事だと感じています。多くの人が協力して1つの大きな工事を完成させた時の達成感が凄いです。しかも自分が手掛けた道路や河川の工事が、地域の安全や便利さにつながって「地元貢献できているんだ！」という手ごたえを感じることができる仕事だと実感しています。まだ分からないことがたくさんあるので、先輩たちから教えてもらいながら取り組んでいます。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社したばかりの時はなにも分からないまま先輩たちと現場に出ていましたが、毎日少しずつ変わっていく現場を見ていて楽しいですし、完成した現場を見て自分もこの工事に携わったんだという達成感がとても気持ちいいです。新人のころ自分の判断ミスで失敗をした時に先輩からとても厳しく指導されたことが印象に残っています。その指導があったからこそ今があると思っています。

Q. これからの目標を教えてください。

少しでも先輩たちのように1人前の現場監督になれるように一日一日の時間を大切にしながら現場や先輩たちから学びいろんなことに挑戦していきたいと思っています。まずは国家資格である一級土木施工管理技士を取得して、大きな現場を任せてもらい、みんなに認められるような技術者になりたいです。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

盛岡は適度に都会で自然も豊かでとてもいい環境だと思っています。テーマパークなどの大きな娯楽施設はありませんが、必要なものは揃っておりとても暮らしやすいと思います。夏のさんさ踊りは参加者も沿道の大人も子供も一緒になって踊りだす、そんな温かい盛岡らしさを感じる祭りなども楽しめていいところだと思います。

インタビュー：土木部 藤林 空来

株式会社水清建設



震災を機に始めた仕事。現場を明るく、誰からも慕われる指導者に！
株式会社水清建設 山本 和行さん



盛岡の高校を卒業後、建設業の運転手に憧れて職に就いた山本さん。その後ものづくりの仕事に興味をもち土木作業員になりました。今はオペレーターや世話役などを行っています。とても明るい山本さんのまわりはいつも笑顔が溢れています。

Q. どのような仕事をしていますか？

土木部工事課に所属し、主に河川や道路の工事をしています。現在従事している河川工事は大雨により氾濫し町に多くの浸水被害をもたらした川で、川幅を広げて深くし護岸を整備することで同じような災害が起きにくい河川にしています。重機を使っての作業のほか新人の指導もしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

東日本大震災があり、以前勤めていた会社で仕事ができなくなりました。ボランティアで復旧作業に行こうと思っていたところ水清建設から声がかかり、被害を受けた宮古のがれき撤去作業に従事しました。今の会社から声がかかったときは頼りにされてるんだと思いました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

今まで、何社か経験してきましたが、水清建設は会社の組織もしっかりしていて、作業員の人間性がよく仕事をしやすい環境だと思っています。また、社員旅行や懇親会など社員同士が親睦を深めながらリフレッシュする機会もあります。日々形を変えていくものづくりが楽しく、工事が完成して地域の皆様に活かされるのが嬉しく楽しいです。

Q. これからの目標を教えてください。

これからも色々な作業をしたいと思いますが一一つ丁寧にこなしていきたいです。最近は建設業も情報化（ICT化）が進んできて重機操作もマシンコントロールされるように進歩しています。しかし、操作する人間の能力は不可欠なので、新しくこの仕事に携わる人に今までの経験を生かして指導していきたいです。誰からも慕われる指導者になるのが目標です。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

目標をしっかり持って、自分のできることから一生懸命頑張らしましょう。少し怒られたくらいではめげないで仕事に取り組みましょう！

インタビューー：土木部 藤尾 大翔

会社のため、お客様のために私ができること
株式会社住宅工業 伊藤 文太さん



地元である県立の高校を卒業後現在の会社に就職をした伊藤さん。日光アレルギーということもあり業務や事務といった仕事に就きたいと思っていました。また、学生時代からコンピューターを使った仕事がしたいと考えており業務課志望で就職をしました。今年で入社して5年目となり、頼れる先輩として活躍しています。

Q. どのような仕事をしていますか？

主な業務内容は資材発注です。その他にも入荷してきた資材の検査、生産ラインへの供給、工業廃水の処理等様々な作業を行い、工場で作業している人たちが困る事のないよう努めています。また、部署内で遅れている作業の応援作業もしており、1日で複数の仕事をこなしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

学生時代からコンピューターを使った仕事をしたいと思って企業を探していたところ、高校の担任からの強い勧めを受けて興味を持ちました。その後実際に工場見学に行き、ミサワホームの住宅用パネルを生産している従業員の皆さんの仕事に取り組む姿を見て格好よく思い、その仕事を間接業務という形でサポートがしたいと考え応募したのがきっかけです。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

会社の魅力としては東北6県にミサワホームの住宅用パネルを生産し供給していることです。また、一昨年には本社の山梨工場で南極基地の基本観測棟の生産を行いました。ミサワホームは南極に36棟の建物を供給し、南極で働く人の生活や様々な研究などに協力しています。いつか岩手工場でも南極基地のような大きな仕事も手がけてみたいです。職場の雰囲気は、初めは緊張もあんなかなか自分から話しかけにいけなかったのですが、徐々に話せるようになると、先輩方はみんなとても優しく良い人たちで、居心地の良い雰囲気の会社だと感じました。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

印象に残っていることは発注ミスをしてしまった事です。普段のミスならば資材メーカーに連絡をし、最短納期で納入すれば間に合うのですが、1度だけどうしても間に合わない事態がありました。その時は、沿岸にある取引メーカーまで課長に向かってもらい、何とかその日の作業に間に合ったという事があります。その後は、同じミスが発生しないように作業改善を行いました。初めての大きなミスだったのでとても印象に残っています。

Q. これからの目標を教えてください。

今担当している作業の他にも、所属する業務課には様々な仕事があります。業務課の仕事全般を出来るようになりたいです。その上で、他部署の仕事にも従事してみたいと思っています。その後何年か経った頃には主任や係長といった上の役職に昇進できるように頑張ることが目標です。そのためには、共に働く人から信頼されるような仕事をし、研修にも進んで参加するなど努力していきたいです。

インタビューー：株式会社住宅工業 中村 太紀

株式会社住宅工業
〒028-7303 八幡平市柏台1-4

測量から街づくりにチャレンジ！
株式会社タックエンジニアリング 福岡 空雅さん



県南の高校を卒業後、デザイン科のある短期大学に進学した福岡さん。2年生の時に現在の会社のインターンに参加し、学生生活の中でさらに街づくりに関わる仕事をしたいと考えて専攻科に進学しました。専攻科では、災害やドローンなどについて1年間勉強を積んで、その勉強が生かせる現在の会社に入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

現在行っている業務は、3次元測量や環境調査、生態調査などです。3次元測量では、2次元電子データの3次元データへの変換や、ドローンで撮影した写真から3次元データの作成などを行っています。環境調査では、河川の氾濫調査や稲の生育情報などをドローンで撮影し調査しています。生態調査では、鹿やアライグマに取り付けられているGPSから歩いた距離や経路を山の3Dモデルに合わせるデータ作成などを行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

現在の会社に入社したきっかけは2つありました。1つ目は、学生の頃街づくりのイベントに参加した際に興味を持ち街づくりに関わる仕事に就きたいと考えたからということ、2つ目はインターンに参加したのがきっかけです。特にインターンでは、三陸の復興道路の土量管理の仕事に関わり、その中で、写真から3次元データの作成をどのように行っているのかを知り大いに興味がわきました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

実際に入社して感じていることは、3つあります。1つ目は縦割りがないため、部署に関係なく仕事に関わることが出来て、多くの知識や経験が身につけやすいという点。2つ目は会社の空気が明るいため、言いたいことが言え、相談しやすいので効率的に仕事が進められるという点。3つ目は、大手のグループ会社のためドローンの検証など行うので理解を深めることができる点です。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

これまでの仕事で印象に残っていることは、ドローンを使用する岩手山の火山調査を行ったことです。この業務は初めて担当した大きな仕事であり、難しい場所での離発着や目視外でのドローンの飛行など、かなり難しい現場でもあったため印象に残る業務でした。その難しい現場環境で工夫した点は、角度など綿密に計算し離発着を行った点と、人を配置してインカムでドローンの位置確認を行い目視外での飛行を行った点です。このような工夫をして業務を成功できたため自信がたった業務です。

Q. これからの目標を教えてください。

これからの目標は3つあります。1つ目は、現在手広く仕事を行っているため、そこからやりたいものを見つけ深く掘り下げたいという点です。2つ目は、土地家屋調査士の資格を取得し、測量業界の知識をさらに深めていきたいという点です。3つ目は、測量業からさらに幅を広げて空間情報コンサルタントに力を入れて、お客様により良い提案をできるようにしていきたいという点の3つがこれからの目標です。

インタビュー：株式会社タックエンジニアリング 川村 憲吾

技術力のある空間情報コンサルタントを目指して
株式会社タックエンジニアリング 十和田 未佳さん



山形県内の大学院で地学の研究をしていた十和田さん。修了後は地元の測量会社に入社しました。その後、盛岡市への転居を機に現在の会社へ入社しました。今までの経験を活かし、空間情報コンサルタントとして業務を行っています。

Q. どのような仕事をしていますか？

さまざまな地理空間情報を地図上に分かりやすく表示させることができるGISというシステムを使用したデータ作成業務を行っています。具体的には、例えばある土地についてシステム上で範囲を表示し、地図や航空写真を背景として図面を作成し、土地の情報（所有者、面積、用途など）を利用して必要な資料を作成するなど、空間情報を持ったデータを使用する業務に多く関わっています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

盛岡市で前職の経験が活かせる測量業界での就職を考えていました。その中で、弊社は大手のグループ会社ということもあり、最新のドローンを導入するなど業界の先端技術をいち早く取り入れることができ、また、取り入れようという意欲が高いということを知りました。データ解析だけでなく、実際に現場で作業を行う外業（野外における測量作業全体のこと）にも携わりたいという思いがあったので、様々な最新のツール・技術に業務で触れられる点が特に魅力的に感じ入社を決めました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

教育熱心だと感じています。進歩が早い測量業界の技術に対応する技術者を育てようという意識が高いので、希望する研修には参加でき、分らないことは専門性・経験のある従業員に相談しやすい環境だと思います。職場の雰囲気としては、業界の中では女性従業員の比率が高い会社ということもあり、清潔感があることと、従業員の働きやすさについて検討していく姿勢があることを感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

市町村等行政の業務に関わり、自分が作成した資料がお客様の助けになっていると感じられたときは、社会や人の役に立っているという実感が湧き印象に残っています。入社してからすぐの業務でお客様との打ち合わせをした際には、測量の知識だけではなくお客様の専門に合わせた知識も必要となり、難しいと感じる部分もありました。さまざまな業種に関わる業務がある中で、より相手の求めているものを提案できるようにするため日々勉強ではありますが、その中でもお客様のご要望に合う資料を提案できたときは嬉しかったです。

Q. これからの目標を教えてください。

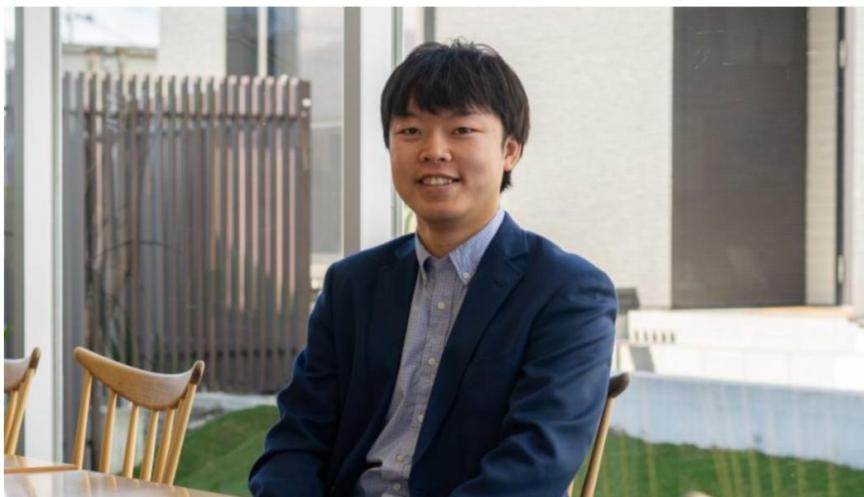
主任技術者として業務一つ一つを完遂できるようになることです。業務を行う上で資格要件があることと、業務を受注する際の評価にも関わることから、まずは測量士の資格取得を考えています。そして、空間情報コンサルタントとしてよりお客様の役に立つことのできるよう、さまざまな業務を行うことができる技術者を目指していきます。

インタビュー：株式会社タックエンジニアリング 工藤 彩佳



家という“モノ”を売るのではなく、マイホームに望む“コト”を叶える仕事。

株式会社パルコホーム 今野 幸貴さん



秋田出身の今野さんは、仙台の大学に進学。卒業後は地元秋田へ戻って働くことを優先し、今とは違う業界の会社で働いていました。しかし、学生時代から興味があった住宅業界で働いてみたいという思いを捨てきれず、ご縁があったこともあり、現在の会社に転職。新築住宅のプロとして働いています。

Q. どのような仕事をしていますか？

新築住宅の営業マンとして働いています。営業という仕事はお客様へ住宅を販売する仕事ですが、単に家という“モノ”を提案し販売する仕事ではなく、お客様がどんな家に住みたくて、どんな暮らしがしたいのか、マイホームについて望んでいる“コト”を叶える仕事です。住宅は人生で一番大きな買い物なので失敗はできません。お客様の暮らしの夢をお聞きし、今現在のことだけでなく、お客様の将来の暮らしも考えてご提案しています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

現在勤めている“パルコホーム”という会社のポリシーに共感したからです。パルコホームは“ママ楽の家”という商品を提案しており、この商品は、家に最も長い時間いて、家族のために働いているママの家事負担を軽減するという特徴があります。ママの心と体に余裕ができ、ママの笑顔が増えて、パパもお子さんも笑顔になり幸せを感じながら暮らすことができるように、収納や家事導線にこだわった家づくりをしているという考え方に共感し、この会社への入社を決意しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

会社には営業の他に設計士やコーディネーター、現場監督、その他の事務職の方など、たくさん部署の方がいます。また年齢層も10代～60代まで幅広いです。そんな中、この会社では年2回のレクリエーションや懇親会、社員旅行など社内イベントがたくさんあり、年代関係なく仲が良いと実際に入社して最初に感じました。この社員間のコミュニケーションが普段の仕事にも活かされていると感じます。

Q. これからの目標を教えてください。

まだまだ住宅営業マンとして未熟なので、まずはお客様のことを親身に考えてより良い提案をし、夢のマイホーム実現のお手伝いをしていき、月1棟コンスタントにご契約いただける営業マンになることが目標です。最終的な目的は営業マンとして経験を積んで支店長を目指し、いずれは私の地元である秋田県に新店舗をつくり、家族の笑顔あふれるというパルコホームの思いのこもった住宅を地元秋田にも広めていくことです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

私は就職活動していた当時、住宅業界に興味があったものの、最終的には何となく一番最初に内定を頂いた地元の会社に就職しました。しかし、何となくの判断基準では長く続かないか、続いたとしても働いていて楽しくないと思います。「給料がいい」「残業がない」「休日が多い」「休日が多い」等も判断基準としてもちろん大事ですが、同じ働くのであれば自分の興味のある業界で活躍したほうがきっと楽しいはずです。妥協せず、自分の興味のあることを探すことが就職活動する上で一番大事なのではないでしょうか。

インタビュー：工事管理課 畑山 斗弥



地元での挑戦、更なるスキルアップへ！

株式会社水清建設 藤林 空来さん



高校時代のインターンシップで水清建設に行く機会がありました。そのインターンシップで会社の雰囲気や社員の人がよく、魅力のある会社だと思いました。また、水清建設では、地域貢献活動もしており自分も地元の人たちの力になりたいと思い、入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

図面作成、測量、施工管理、計画書や資料作成など様々な業務を通して、当たり前で安全・安心な生活を支える社会基盤の整備、修繕をしています。工事現場の現場代理人として工事が工程通りに進むよう、多くの協力業者さんや作業員さんに指示を出し、無駄なく安全に品質良く作業できるように施工の管理をしています。また、新しく導入したドローンを使って測量などもしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

元々地元の企業に入りたいと思っていました。高校の時にインターンシップや会社説明会などに参加し、その中で水清建設に行ったところ、現場での皆さんの雰囲気が良く、このような会社で働きたいと思いました。もともと自分はモノづくりに興味を持っていて、高校の先生からのアドバイスに後押しされたこともあり、現在の会社に入社することを決めました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

水清建設に入社して最初に思ったことは、先輩社員の方々がとても気さくでコミュニケーションを取りやすく明るい会社だということです。また、福利厚生等の社内行事や、地域貢献としての周辺のごみ拾い、清掃活動など社内交流が活発です。若い世代も多いので人見知りな自分でもとても親しみやすい雰囲気であると感じています。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

工事現場で測量を任されたとき、何度か失敗をしてしまい先輩から指導を受けるときもありました。しかし、自分が測量したとおりに構造物が出来上がっていく過程を日々目にするすることができます。毎日形を変えていく現場を見るのが楽しく、大きな喜びのひとつです。最初から最後まで携わった現場は達成感が大きいことはもちろん、地域の方々から「キレイになったね」などお褒めの言葉をいただいたことがとても印象に残っています。

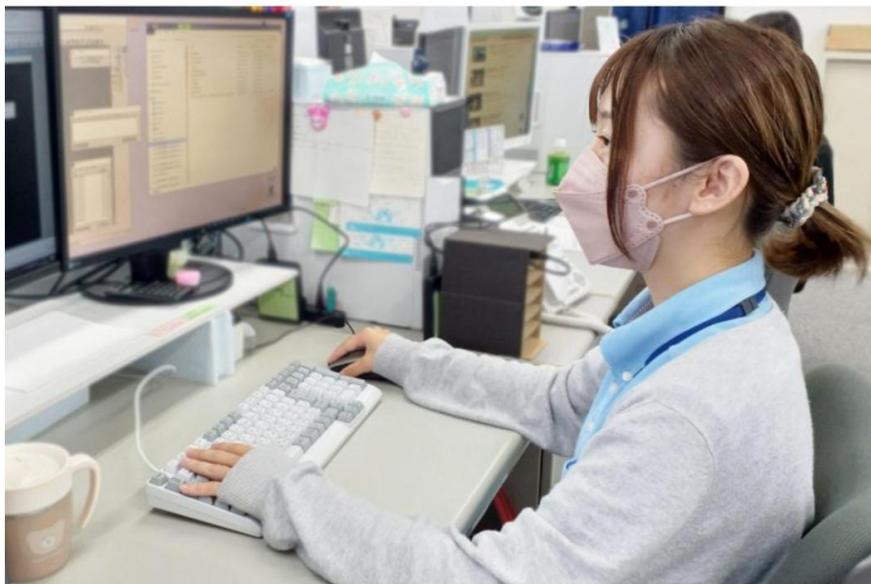
Q. これからの目標を教えてください。

これからの目標は、先輩方のように1人で何事にも対応をしていけるような力を身につけることです。まだまだ、自分には、先輩方のように物事に対応をしていける力はありません。しかし、後に自分の判断で仕事を進めていかなければならない時が必ず来るので、日々の仕事や生活していく中で今の自分には足りない力や技術を認識し、確実に身につけていきたいです。

インタビュアー：中野 智博



未経験から新しい分野にチャレンジ！
株式会社タックエンジニアリング 鍋倉 明日佳さん



盛岡の高校を卒業後、デザイン科のある短期大学に進学した鍋倉さん。地元である盛岡で就職したいという思いと、短大の先輩が入社していたという縁もあり、現在の会社に入社しました。測定の知識に関してゼロからのスタートでしたが、日々勉強しながら立派な技術者になれるように頑張っています。

Q. どのような仕事をしていますか？

航空機や無人航空機（UAV：Unmanned Aerial Vehicle）を使って測量したデータの処理を行っています。主に防災や地形判読の基盤となるデータを作成するという仕事で、国や地方公共団体の役に立っています。膨大な地形データの処理や工程管理など、作業が大変な仕事ではありますが、チームで協力しながら取り組んでいます。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

2つのきっかけがありました。1つ目は短大の先輩が入社していたこと、2つ目は地図を作る仕事内容に興味を持ったことです。測定の知識が全くなかったため、不安な部分もありましたが、「1からしっかり教えるよ」という言葉に安心したことも入社の後押しになりました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入社して感じていることは2つあります。1つ目は働いている人達の人柄がとても良く、居心地が良いこと。2つ目はしっかり教育してくれる体制があり、分からないことを気軽に聞くことができるし、ちゃんと教えてくれることです。しっかり教育してくれる体制があったところは、ゼロからのスタートだった自分にはとても良かったと感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社1年目の時に親会社のプロジェクトに3か月間出向したことです。今の仕事の基盤となる知識を身につけることができ、また今でもつながりのある人脈ができたからです。初めての長期出向で不安は大きかったのですが、初めての経験から得るものもたくさんあり、大変貴重な経験だったと今では感じています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

幅広い視野・考えで行動してみてください。また、人との縁や出会いも自分に思わぬ影響をもたらします。「興味ないな」、「よく分からないな」も見方・考え方を変えるだけで魅力的な部分が見つかるかもしれません。それが次につながるきっかけになることもあります。ちょっとしたきっかけを大切に、チャンスを掴んでください。

インタビュー：株式会社タックエンジニアリング 千田 風馬



『置かれた場所で咲く』という気持ちをもって！

株式会社住宅工業 柴田 未歩さん



宮城の福祉系大学を卒業後、県内企業への就職を希望していた柴田さん。入社後、総務経理課に所属し、第1子出産後、育休復帰を経て、製造課へ異動しました。3年後第2子を出産、育休復帰後、現在の工程へ異動しました。子どもの病気や学校行事により休まざるを得ないことがあるものの、職場の理解や協力を得て、仕事と家庭の両立をしています。

Q. どのような仕事をしていますか？

メインの生産ラインの前工程として、屋根パネルの一部や機械設備では製造できないパネルを手組みで造ったり、大工さんが建築現場で組み立てるための出荷部材を造っています。また、他工程の応援として芯材のカットをするなど、住宅部材の製造をしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

製材する際に出る木粉、端材を再利用するという発想、ミサワホームの「M-Wood」という商品として製品化した技術力に感心しました。そのような技術を持った会社の工場で働いている社員の方たちを、総務という裏方の立場からサポートしていきたいと思い、応募しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

数年前、工場の権利委譲があり、新会社としてスタート。会社の組織体制がこじんまりとしたことでネットワークが軽くなり、従業員の声を聞くという姿勢が見られ、以前よりも社員の意見が取り入れられることが増えました。また、MPS（ミサワプロフィットシステム）という改善方法を用いて、半期に1テーマを選び業務の改善を進めたり、社員から提出された改善活動記録に対して毎月表彰があり、業務改善が活発な会社だと思っています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

東日本大震災の後、仮設住宅の生産をしました。その際、他工場からも1ヵ月ほど生産応援をしていただきました。応援のために人員を快く送り出していた他工場、そして被害にあった方たちの役に立ちたいと熱い思いで応援に来ていただいたことが嬉しかったです。また自分は、今まで経験したことのない作業をして新鮮でした。その時に経験した作業は、今の工程で行っている作業です。巡り巡って役に立つこともあるのだと感じました。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

もしかしら希望した企業に入っても、希望していた部署とは別の部署に配属されるかもしれません。もしかしら、希望していた企業からではなく、関心の低かった企業に採用されるかもしれません。でも、企業は“この人なら仕事をしてくれるだろう”と期待を込めて採用します。だから、『置かれた場所で咲く』という気持ちで自信をもって仕事をしてください。

インタビューー：株式会社住宅工業 渡辺 美鈴



『置かれた場所で咲く』という気持ちをもって！
株式会社住宅工業 柴田 未歩さん



高校を卒業後、県内での就職を希望していた佐々木さん。卒業後、現在の会社に入社し、転職することなく、2021年で22年目になります。今春、係長に昇進し、今でも多くのことを学びながら日々仕事に励んでいます。

Q. どのような仕事をしていますか？

始業前に生産ライン設備の立ち上げ準備から始まります。生産中はラインの進捗管理が主な仕事で、生産目標に対して遅れている工程への応援、設備トラブルの対応等をしています。生産終了後は、生産データの集計、作業日報の取りまとめ、工場棟の管理責任者として、機械設備の終了作業と建屋の戸締り確認をしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

子どもの頃から物を作ることが好きでした。就職先を悩んでいた時に、兄からミサワホームの工場を勧められました。工場パネルを生産し、現場で大工さんが1日2日で組上げる工業化住宅を工場見学で見て興味を持ち応募したのがきっかけです。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

東日本大震災の時です。当時は、これまで経験したことのない揺れに工場棟の倒壊や家族の安否など様々なことが頭をよぎりました。工場では緊急に資材を確保し、仮設住宅を生産することになりました。若手工場だけでは人数が足りず、他工場から応援を頂いて、約800戸の仮設住宅を生産することができました。また、ミサワホームで建てた家のおかげで倒壊を免れたというオーナー様のメッセージが届いたことを聞きました。少しでも社会に貢献できたと思うと嬉しい気持ちになりました。

Q. これからの目標を教えてください。

まだまだ分からないこと、学ばなければならないことが沢山あります。周りの人達の協力を得ながら、まずはトラブルが起きないように改善活動を進め、起きてしまったときは、素早く解決し、ライン停止時間を削減できるよう尽力していきたいと思っています。後輩の手本となるように努めていきたいと思っています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

いま、自分の理想と違う仕事だと感じ、離職してしまう人が多いことが残念です。仕事の内容について知るために、学校の先輩方から情報収集をしたり、応募前職場見学などを活用したりして、まず、自分に合っているかどうか、そしてさらに、その企業の将来性や社会への貢献度などを指標として熟考してください。

インタビューー：株式会社住宅工業 泉澤 星来



異業種からの転職。“知識ゼロから始める、建設業”

株式会社水清建設 佐々木 憲人さん



地元の高校を卒業後、県内の食品製造会社に入社した佐々木さん。その後、縁あって、水清建設に入社しました。今では、職場にも慣れ、現場代理人として業務を行っています。

Q. どのような仕事をしていますか？

水道部門で、公共工事の現場代理人をしています。工事がスムーズに進むよう、また作業の遅れや手直しなどが発生しないよう現場の管理や事前に段取りを行い、工程に遅れがないように努めています。また、施工状況を記録した工事写真の管理や発注者との打ち合わせ、工事で使用する機械や材料の手配などをし、施工の管理をしています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

定期的な清掃活動や地域のイベントに参加し、地域貢献活動に取り組んでいて、とても良い活動をしているなど感じました。そのような活動を通して、社内外の人と交流を深めることも魅力だと思っています。多様な休暇制度があり、実際に直属の上司が育児休暇を取得しており、働きやすい職場だなと感じました。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

前職と比べ、天候に左右されやすく、悪天候で作業ができず予定していた作業が遅れ、仕事に影響が出る時もある大変ではありますが、地域住民の方々に、「暑い中・寒い中ご苦労様です」と感謝の言葉をいただいたり、「きれいに施工してくれてありがとう」と喜んでもらえたりしたことがとても印象に残っています。

Q. これからの目標を教えてください。

今までは先輩達の背中を追いかけてきましたが、一日でも早く頼ってもらえるように、施工に関する必要な知識の習得や施工管理の資格取得、そして、積算ソフトを使用した積算業務にも挑戦したいと思っています。これから若い人達が沢山入ってくると思うので、見本になれるように頑張ります。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就活するにあたって自分を見つめなおす機会が増え、やりたい仕事や興味のある仕事を探すのに苦労する人も多いと思います。実際に働いてみないとわからないこともあると思いますが、自分が学生時代だった時と現在を比べると、リモートワーク等ここ数年の間に様々な働き方が増えたと思いますので、そういった仕事の探し方もアリだと思います。色々な事に挑戦、経験し、沢山の人と出会ってください。チャンスは日々の日常に転がっています。

インタビュアー：村松 磨央



気負わずに助け合いながら楽しもう！

オヤマダエンジニアリング株式会社 安保 秀政さん



盛岡生まれ、盛岡育ちの安保さん。子どものころからものづくりが好きで工業高校に進学。高校卒業後、建設用金属製品製造工場に就職し7年間勤務。その後ポンプ設備工事に興味を持ちオヤマダエンジニアリングに入社。現在は主に設備工事の現場管理を担当しています。

Q. どのような仕事をしていますか？

ボイラー工事、ポンプ工事などの現場管理を行っています。具体的には担当する工事の原価管理、品質管理、安全管理、工程管理など工事全般の管理を行っています。現場は農業用ポンプ施設、学校、病院等の公共施設、民間工場などです。また、ボイラー溶接士の資格も持っているため、現場で使用する鋼材の溶接加工も行っています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入社当時は右も左もわからない状態で、この職場は私に合っていないのではないかと考えたこともありましたが、しかし、今では工事が無事終わったあと達成感を感じるようになり、官庁工事では高い評価を得ることができるようになりました。職人さんは私の言った通りにやると言うので口論になりました。そのせいで工事は遅れ、多くの人に迷惑をかける結果となってしまいました。最初は「私が悪いわけではない」と思っていたのですが、振り返ってみると細かい所の指示不足や自分が他の作業をして目を離してしまった点など、私自身にも原因があったと反省しました。現在、大きなミスなく職人さんともコミュニケーションをとりながら現場をまとめることができているのは、このときの経験があったからだと思っています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

10年以上前の話です。某工事現場の進捗度合いが遅かったため、私は職人さんの作業を手伝っていました。その作業がある程度進み他の箇所を確認しに行ったところ、指示した形とは異なっており私は担当の職人さんを注意しました。しかし、職人さんは私の言った通りにやると言うので口論になりました。そのせいで工事は遅れ、多くの人に迷惑をかける結果となってしまいました。最初は「私が悪いわけではない」と思っていたのですが、振り返ってみると細かい所の指示不足や自分が他の作業をして目を離してしまった点など、私自身にも原因があったと反省しました。現在、大きなミスなく職人さんともコミュニケーションをとりながら現場をまとめることができているのは、このときの経験があったからだと思っています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

コロナ禍という今までは違う環境の中で就活をしている皆さんはとても大変だと思います。上手いかわからないこともたくさんあると思います。ただ1回の就職が人生のすべてを決めるわけではありません。もし、最初に就職したところがダメだったとしても次があります。あまり気負い過ぎず、けれども自分の信念は貫いて就活に励んでください。応援しています。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

盛岡は、とにかく住みやすいです。異常気象が叫ばれる時代ですが、盛岡は比較的災害が少なく、洪水や地震等の災害で住めなくなったという記憶や経験がありません。人柄も良く穏やかな性格の人が多く感じています。食も良いですね。盛岡といえば冷麺やわんこそぼのイメージが強いですが、自然に恵まれているため他の食材も美味しいです。移住先としても盛岡をおすすめします。

インタビュー：オヤマダエンジニアリング株式会社 吉田 圭助